

平成 30 年度新設

言語聴覚障害コース [Department of Audiology and Speech-Language Pathology]

養成する人材像

主として言語聴覚障害の患者に対して、

1. 臨床現場において、対象者の全人的な観点から、多職種と連携して QOL の向上に寄与できること、また地域包括ケアシステムなど変化する社会的ニーズに適確に対応し、率先していけるより高度な医療従事者。
2. 種々の訓練手技などのエビデンスを構築する臨床研究を行うことができ、また生理学的基盤から臨床を支える基礎研究も行える教育・研究者。

学位名称 修士 (リハビリテーション医療学) [Master of Rehabilitation Medicine]

国家試験受験に必要な科目を履修することにより言語聴覚士法第 33 条第 4 号に基づき、言語聴覚士国家試験受験資格が得られます。

I 村上本校キャンパス入学 一般選抜

- 新潟リハビリテーション大学 大学院 リハビリテーション研究科 リハビリテーション医療学専攻 (修士課程) 村上本校キャンパスに、平成 30 年 4 月に入学する学生を、次のとおり募集します。

1. 募集人員

研究科	専攻	設置コース	標準修業年限	入学定員
リハビリテーション研究科	リハビリテーション医療学専攻	摂食・嚥下障害コース 高次脳機能障害コース 運動機能科学コース 心の健康科学コース 言語聴覚障害コース	2 年 (長期履修制度あり)	12 名 (男女) (サテライト キャンパス含む)

入学時の希望に基づき進学コースが決定されますが、1 年次 6 月末までは申請に基づく審査によりコース変更が可能です。
コース別の履修は 1 年次 10 月より開始されます。

2. 出願資格

<言語聴覚障害コースに進学を希望する者>

- ・医療・保健・福祉・リハビリテーション等関連領域において自らの専門性をもってその業務にあたらうとする者で、平成 30 年度新潟リハビリテーション大学大学院学生募集要項 6P に記載されている①～⑩のいずれかの条件を満たす者。

3. 出願資格審査 (出願資格⑩該当者のみ)

出願資格の⑩に該当する者については、平成 30 年度新潟リハビリテーション大学大学院学生募集要項 7P 記載事項に基づき出願資格の確認を受けてから出願してください。

出願資格審査 書類提出期間 平成 30 年 2 月 28 日 (水) ～平成 30 年 3 月 14 日 (水)

4. 出願手続

- (1) 出願期間 平成 30 年 3 月 16 日 (金) ～平成 30 年 3 月 30 日 (金)
- (2) 出願書類等 他コースと同様です。
- (3) 注意事項 他コースと同様です。
- (4) 出願書類等提出先
〒958-0053 新潟県村上市上の山 2 番 16 号
新潟リハビリテーション大学 大学院 学務委員会
- (5) 外国人留学生の出願 他コースと同様です。

詳細は

平成 30 年度新潟リハビリテーション大学大学院
学生募集要項の 8P を確認してください。

5. 選抜方法等

入学者の選抜は、小論文、面接及び出願書類により行います。

入学試験日

平成30年4月2日(月) 小論文と面接についての注意事項は、他コースと同様です。

詳細は平成30年度新潟リハビリテーション大学大学院学生募集要項の9Pを確認してください。

試験内容と時間

試験内容	時間
受付	10:00 ~ 10:20
小論文	10:35 ~ 11:35
面接	11:50 ~

6. 試験会場

(1) 試験会場

〒958-0053 新潟県村上市上の山2番16号 新潟リハビリテーション大学 大学院 (E棟2階 講義室)

TEL: (0254) 56-8292 FAX: (0254) 56-8291

(2) 交通機関

電車利用時 JR羽越本線・村上駅下車 タクシー約15分 ・岩船町駅下車 徒歩約30分(2.3km)

車利用時 日本海東北自動車道「神林岩船港I.C」から約5分

7. 合格発表

合格発表日時

平成30年4月2日(月) 午後4時

*合格発表についての注意事項は、他コースと同様です。

詳細は平成30年度新潟リハビリテーション大学大学院学生募集要項の9Pを確認してください。

8. 入学手続

入学手続(書類提出及び入学金納入) 締切

1年次授業料納入 締切

平成30年4月3日(火)

平成30年4月3日(火)

*入学手続きについての注意事項は、他コースと同様です。

合格発表から入学手続までの期間が非常に短くなっており、ご注意ください。

詳細は平成30年度新潟リハビリテーション大学大学院学生募集要項の9Pを確認してください。

II 共通事項

共通事項については、他コースと同様です。

詳細は平成30年度新潟リハビリテーション大学大学院学生募集要項の13P~16Pを確認してください。

III 大学院言語聴覚障害コース専任教員

教員	役職・職位	学位 国家資格等	教育研究内容・専門領域
たかはし けいぞう 高橋 圭三 takahashik@nur.ac.jp	言語聴覚障害コース長 講師	博士(歯学) 言語聴覚士	○摂食嚥下障害関連研究 ○嚥下訓練の効果に関する研究 ○嚥下動態に関する研究 ○高齢者における摂食嚥下障害の予防研究 ○言語聴覚療法学
やまむら ちえ 山村 千絵 yamamura@nur.ac.jp	学長 研究科長 摂食・嚥下障害コース長 大学院学務委員長 教授	博士(歯学) 歯科医師	○摂食嚥下に関する基礎生理学 ○嚥下調整食についての基礎的研究 ○高齢者が食べやすい食材の開発 ○口腔生理学 ○基礎歯科学

IV 科目履修について

教育課程の編成方針（カリキュラムポリシー）については、他コースと同様です。

詳細は平成30年度新潟リハビリテーション大学大学院学生募集要項の21P～22Pを確認してください。

○科目履修の他に研究指導（1～2年次）を受け、修士論文研究の実施及び修士論文の作成が必要です。

V 修了要件と学位授与

<学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）>

本大学院で以下のような能力を身に付け、かつ修了要件を満たした学生は、修了が認定され、修士（リハビリテーション医療学）の学位が授与されます。

1. 共通科目の履修を通して、リハビリテーション医療に対する理解を深めるために、専門領域を超えて深く問題を探求する姿勢。
2. 各コースにおける体系的な学修を通して、摂食・嚥下障害、高次脳機能障害、運動機能科学や心の健康科学、言語聴覚障害に関する多様な課題を発見分析し、自ら解決する能力。
3. 修士論文研究を通して、高度な知識の活用能力、批判的・論理的思考力、表現能力、プレゼンテーション能力等を総合する力。

<修了要件>

1. 研究科に2年以上在学すること。
2. 言語聴覚障害コースは必修単位（ただし、必修単位には研究指導による4単位を含めない。）76単位以上を修得すること。
3. 提出期限までに修士論文を提出し、修士論文の審査（論文審査、発表審査）および最終試験に合格すること。
4. 所定の学費等を納めていること。

VI 授業科目

- ・村上本校キャンパスの授業は、対面型授業（平日昼間）が主で、一部、Web授業、e-learningがあります。
- ・5コース共通で受講可能な共通科目と、コース別に受講科目が異なる専門科目を用意しています。

教育課程（カリキュラム） 別表I リハビリテーション医療学専攻（平成30年4月1日～）				
言語聴覚障害コース ※修了要件単位数は、研究指導を除き76単位以上とする				
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	
			必修	選択
共通科目	リハビリテーション医学総論Ⅰ（内科・神経内科）	1	1	
	リハビリテーション医学総論Ⅱ（外科・整形外科）	1	1	
	医療倫理	1	1	
	研究方法論	1	1	
	精神医学	1	1	
	公衆衛生学総論	1		1
	教育心理学	1		1
	看護教育学	1		2
	臨床解剖学	1		1
	神経心理学	1	1	
	リハビリテーション臨床学	1		1
	リスク管理学	1		1
	職場マネジメント	1		1
	教育指導法	1		1
小計（14科目）		—	6	9

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数	
			必修	選択
専 門 科 目	摂食・嚥下障害学総論	1	2	
	口腔咽喉頭機能学	1	1	
	摂食・嚥下訓練・治療法（基礎）	1	1	
	高次脳機能障害学総論Ⅰ（基礎）	1	1	
	高次脳機能障害学総論Ⅱ（応用）	1	1	
	高次脳機能障害評価学Ⅱ（画像・脳波）	2	1	
	発達障害	1	1	
	失語・失読・失書	1	1	
	運動機能科学総論	1	1	
	心の健康科学総論	1	1	
	高齢期とリハビリテーション心理学	2	1	
	臨床心理学	1-2	1	
	生涯発達心理学	1-2	1	
	学習心理学	1-2	1	
	認知心理学	1-2	1	
	心理測定法	1-2	1	
	医学概論	1-2	1	
	解剖学	1-2	1	
	生理学	1-2	1	
	病理学	1-2	1	
	小児科学	1-2	1	
	耳鼻咽喉科学	1-2	1	
	形成外科学	1-2	1	
	言語医学	1-2	1	
	音声医学	1-2	1	
	聴覚医学	1-2	1	
	言語学	1-2	2	
	音声学	1-2	2	
	言語発達学	1-2	1	
	音響学	1-2	1	
	聴覚心理学	1-2	1	
	社会保障論	1-2	1	
	リハビリテーション概論	1-2	1	
	言語聴覚障害学総論	1-2	2	
	言語聴覚障害学診断学	1-2	2	
	言語発達障害学概論	1-2	2	
	言語発達障害学各論	1-2	2	
	言語発達障害学演習	1-2	1	
	音声障害学	1-2	1	
	運動障害性構音障害学	1-2	2	
	器質性構音障害学	1-2	1	
	機能性構音障害学	1-2	1	
	吃音	1-2	1	
	小児聴覚障害学	1-2	1	
	成人聴覚障害学	1-2	1	
	補聴器・人工内耳	1-2	2	
	聴力検査法	1-2	2	
	聴力検査演習	1-2	1	
	臨床実習	1-2	12	
	研究指導	1-2	④	
		小計（51科目）	—	70+④

※社会人等の方は、長期履修制度の活用をお奨めします。